

いきるんだー!!  
えんじゅいことなく  
じぶんでいこう



新見市男女共同参画情報紙

# りぼん

vol.31  
2021.2

かみ よ  
ちはやぶる 神代も聞かず  
ジェンダーの



## 特集記事で 締めくくるとは

※参画宣言に込めた思い…今まであまり聞いたことのないジェンダーの特集記事で今年度を締めくくるとは、とても良いことです。

個性って何でしょうか。

一人ひとりの心の中には、人それぞれの輝きがあります。色にたとえるなら、虹色でしょうか。いえ、もっともっとたくさんの色とりどりのグラデーションがあるはず。あなたの心の色は何色ですか？そう、それはひと言では言えないと思います。赤色やピンク色は女らしい、青色や黒色は男らしいといった時代は今、過ぎ去ろうとしています。

日常生活の中でこんなことはありませんか？

最近は、家事をする男性をCMで見ることも珍しくなくなったね。



「主人」「嫁」「家内」「娘」「姑」  
よく使う言葉だけど、なんだか  
ヘンだよな。

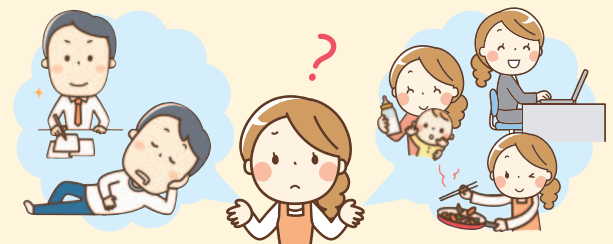
「嫁」は「家」の「女」  
良い女は「娘」さん  
古い女は「姑」さん



← →  
どちらが  
当たり前  
かな？



家事労働も担っているのに、正当な評価  
がなされていない気がするな。



## ジェンダーとは 社会的・文化的な性差

ジェンダーは、「男性だから・女性だから」と枕詞がついて「こうあるべき」姿として、それぞれが所属する社会や文化から規定され、表現され、体現されます。それは、服装や髪形などのファッションから、言葉遣い、職業選択、家庭や職場での役割や責任の分担にも及び、さらに、人々の心の在り方や、意識、考え方、コミュニケーションの仕方にまで反映されます。

## 「ジェンダー・ギャップ指数」という言葉を知っていますか？

「ジェンダー・ギャップ指数」は、世界経済フォーラムが毎年発表している、経済・政治・教育・健康分野の男女平等度を表す指数です。2020年の日本の順位は153か国中121位（前は149か国中110位）でした。ほかの国々で急速に男女格差が縮小しているのに引き換え、日本の変化が遅いことが改めて明らかになりました。

## 男女共同参画社会の実現を目指して

自分と周りの人を大切に思い、男女が互いに協力し合い、尊敬し合って幸せに生きていくことが大切です。一人ひとりが、家庭や学校、地域、職場などで、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができると、男女共同参画社会の実現を目指しましょう。

## 中学校の社会科の授業をのぞいてみました

公民的分野「等しく生きる権利」で、男女の平等やジェンダーについて考える機会がありました。そこで、教師は、対話形式で生徒たちの率直な思いを聞いてみました。

**男女が真に平等な社会とは、どんな社会かな？**

**その社会をあなたはどんなふうに生きていきたい？**

※ **S** 生徒、**T** 教師

**S** 男女が完全に平等にはならないと思う。

**T** どうしてそう思う？もう少し

し説明してくれる？

**S** どうしてかというところ、男子は出産しないし、育児とかも女性の母性には、男は勝てない気がする。だから、全部を完全に同じにはできないと思う。

**S** だから、何でもかんでも同じということじゃなくて、男と女はもともと違うから、お互いに得意なところを生かせばいいんじゃないの？

**T** じゃあ、男の人が得意なことって何？女の人が得意なことって何？

**S** 例えば、男の人が力仕事をしたり、トラックを運転したり、社長とか人の上に立って大事なことを判断したり。

**S** 女の人は服をデザインしたり作ったり、こども園で保育士をしたり、病院で看護師をしたり。

**S** やっぱ、男は大黒柱だから、仕事で結果を出すしかない。家事とか上手じゃないから。

**T** 今、何人が発言してくれたけど、トラックを運転したり、社長とか人の上に立って大事なことを判断したりするのって、女性にはできないことかな？

**T** 逆に、服をデザインしたり作ったり、こども園で保育士をした

りするのって、男性にはできないことかな？

**S** できないことはないと思うけど…

**S** でも、できるかも。女性のトラックドライバーも、社長さんとかもいるし。

**S** 私の知っている人は、こども園で男性が保育士をしているよ。デザイナーも料理人も男性がかえって多いかもね。

**S** 「家事えもん」とかもいるしねえ。

**S** だから結局、自分の得意なことを生かす、個人としての能力を生かす、ということかな？

**T** みなさん、いい所に気づきましたね。日本国憲法の第13条には「個人の尊重」と「幸福追求権」、第14条には「平等権」が規定されていますよね。一人ひとりがかげがえのない個人で、皆がそれぞれの良さを出し合って、世の中を作っていくことですよ。

**S** だから、女は家事・育児、男は外で仕事という固まった考え方はなくしたい。話し合った上でそうなるのはいいと思うけど。

**S** 私は外で働きたい。家事は旦那さんにして欲しい。

**S** もっと言えば、男女以外にも

**T** いいと思います!!  
**S** では時間です。ワークショップに自分なりのまとめを書いて終わりましたよ。

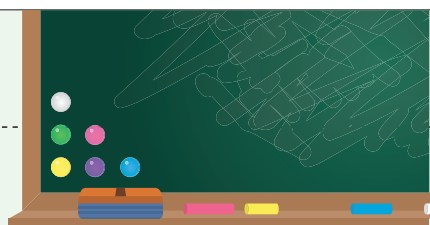


**T** みくんな同じ「人間」!!  
**S** そう。みんなと話していると、男女である前に、みんな同じ人間だという視点に立つことが大切だ、という結論になりそうだね。男は仕事、女は家事と役割を縛り付けずに、お互いの良さを生かせばいいということではないかな？

**T** つまり憲法第14条にあるように、私たちには人種、信条、性別、社会的身分、門地などいろいろな違いはあるけれど、それ以前に、みくんな同じ...?  
**S** 僕が最初に言ったけど、やっぱり「区別はあるけど、差別がない社会」がいいな。

**S** 私もそう思う。とにかく他人を否定せずに、みんなが楽しくハッピーな気持ちで生きていける社会にしたい。

他にも次のような質問をしました。

質問	あなたの選択【%】	その理由、自分の考えなど	
①あなたの周りで、女性と男性の関係はどうだと思おう？	A 平等【82%】	・家庭や学校でも平等に接してもらっている。 ・更衣室などの区別はあるが、差別はない。	
	B 女性の思いどおりになることが多い【11%】	・女性の方が気が強い。 ・女性に逆らうと、陰で反撃される。	
	C 男性の思いどおりになることが多い【7%】	・生徒会などの役員は男子の方が多い。 ・女子の方が遠慮してしまう。	
②女性と男性の違いは、どこからくると思う？	A 体のつくりが違うから【86%】		
	B 育てられ方が違うから【0%】		
	C 人との接し方が違うから【14%】		・女子は、仲良さそうに見えてそうでもない。 ・女子の方が人当たりが良いから。
③家庭を経済的に支えるべきなのは？	A 女性【0%】		
	B 男性【18%】		・男は家事が苦手。外で結果を出すしかない。 ・男性の方が給料が高そうだから。
	C どちらでも良い【82%】		・男女どちらも仕事や家事ができるから。 ・各家庭で決めたら良い。
④女性だから損、男性だから損と思ったことはある？それはどんな時？	A ある【68%】	・変に頼られたりやたらと力仕事をさせられる。 ・仕事で女性の方が昇進しにくいと聞いた。	
	B ない【32%】	・場合によって損得はあるが、トータルで同じ。 ・感じたことがない。	

質問	あなたの選択【%】	その理由、自分の考えなど
⑤ランドセルの色は、女子が赤系の色、男子が黒や青系の色の方が違和感がない。	A そう思う【0%】	
	B そう思わない【100%】	・色の好みは、男女で関係ないと思う。 ・その子に任せたら良い。
⑥将来は結婚するつもりだ。	A そう思う【100%】	・自分に自信はないが、結婚はしてみたい。 ・ずっと独身だとさみしいし、少しはずかしい。
	B そう思わない【0%】	
⑦結婚したら、同じ名字にしたほうが良い。	A そう思う【75%】	・好きな人と名字を合わせたい。 ・親の名字が違うと、子どもの名字に迷う。
	B そう思わない【25%】	・大切なのは心が繋がること。名字は関係ない。 ・もし離婚した時に困りそう。めんどくさい。
⑧もし生まれ変わるとしたら、どの性に生まれ変わりたいですか。	A どちらかといえば女性【24%】	・今の性（女性）の方が、自分にはしっくりくる。 ・難しい判断は、男性にまかせたい。
	B どちらかといえば男性【69%】	・今の性（男性）の方が、自分にはしっくりくる。 ・言動が少々雑でも怒られない。
	C その間の性【7%】	・男女にこだわっていない。どちらでも良い。
⑨自分の制服に違和感を感じたことがありますか？（ズボンをはきたい、スカートをはきたい等。）	A ある【7%】	・制服なのでしようがないが、スカートはあまりはきたくない。 ・制服自体が無意味なのでは？
	B ない【93%】	
⑩アンケート等に回答する時、「男性」「女性」の欄に○をつけたりするのは嫌だ。（違和感がある。）	A そう思う【3%】	・自分の心の中に男性のような部分もあるし、女性のような部分もあるし、よく分からない。男女である前に人間なのに、そもそも男女を分ける意味があるのか？
	B そう思わない【97%】	
⑪あなたは化粧品売場の店員だとします。もし男性客が入ってきて、化粧品をじっくり眺めていたら、どんな言葉をかけますか？		・言葉をかけられない。 ・言葉をかけずに、自由に見ていただく。 ・「いらっしゃいませ、こんにちは」など、あいさつで済みます。 ・「ご家族（奥様）等へのプレゼントですか？」など、さりげなく聞く。 ・もし彼女等へのプレゼントだったら、高いのを買ってくれそうなので、高い化粧品をすすめる。

## 編集後記

編集委員 小川 政保

授業中の中学生たちの意見や反応は、とまどいながらも、とても新鮮で、素直で、純粋なものに思えました。世の中の価値観が変わり、誰もが予想もしなかった事が起きるこの時代、思春期真っ只中の中学生たちは、これまでの社会の男らしさ、女らしさという、たった二つの「色」に疑問を持ち、自分なりの考えを持ち始めています。それは「自分らしさ」という色なのかもしれません。

これからの社会、お互いの色を認め合い、温かく受容できる社会になるといいなと思います。男として、女としてではなく、一人の人としてどう生きていくのかということが大切になってくるのではないのでしょうか。そう、あの金子みずぶさんの言葉をお借りすれば、「みんなちがって、みんな、いい。」

